

京都府中期的な医療費の推移に関する見通し（中間案）の
目標及び目標達成に向けた施策等

資料5

1 府民の健康の保持

(1) 目指すべき目標

	現状		目標数値		
特定健康診査の実施率	R3	53.7%	R11	70%	医療費適正化基本方針や健康日本21（第3次）を参考に、現状値に基づき保健医療計画と併せた目標値を設定
特定保健指導の実施率	R3	26.0%	R11	45%	
メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合	R3	27.0%	R11	24%	過去の推移に基づき、保健医療計画と併せた目標値を設定
喫煙率	R4	13.2%	R11	12.3%	過去の推移に基づき、保健医療計画等と併せた目標値を設定
糖尿病性腎症による年間新規透析導入患者数	R3	269人	R11	260人	過去の推移に基づき、保健医療計画等と併せた目標値を設定
通いの場の参加率	R3	2.5%	R8	5.5%	高齢者の介護予防等の推進に関する目標として、高齢者健康福祉計画等と併せた目標値を設定（新規）

(2) 推進すべき施策のポイント

健康づくりの推進	
生活習慣の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な主体を巻き込んだ健康づくり施策を総合的に展開 ・健康に関心の薄い人も含めて、ICT の活用等、自らが無理なく健康な行動をとれるような環境づくりを推進 ・ライフコースアプローチを踏まえた健康課題への取組を推進 ※ きょうと健康長寿推進府民会議役員会で協議
歯科口腔保健・ 歯科医療対策	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯にわたり定期的に歯科健診を受診することを推進 ・オーラルフレイル予防、口腔機能の維持・向上を推進 ※ 歯と口の健康づくり推進協議会で検討
高齢期の健康づくり・ 介護予防	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防・日常生活支援総合事業の充実に向けた市町村支援 ・高齢者の社会参加と社会貢献活動への誘導を支援 ※ 高齢者サービス総合調整推進会議等で検討
特に広範かつ継続的な医療の提供が必要な疾病に係る対策	
がん	<ul style="list-style-type: none"> ・がん予防・がん検診の強化 ※ 京都府がん対策推進協議会で検討
糖尿病	<ul style="list-style-type: none"> ・京都府糖尿病重症化予防戦略会議及び地域戦略会議を核とした地域の実情に応じた連携体制の構築
高齢者の保健事業と介護予防事業の一体的実施	
	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防・生活支援等の充実と、高齢になっても生きがいを持って活躍できる地域づくり ※ 高齢者サービス総合調整推進会議等で検討

2 安全で良質かつ効率的な医療の提供の推進

(1) 目指すべき目標

	現状		目標数値		
バイオ後続品に80%以上置き換わった成分数	R3	2成分	R11	10成分 (※)	後発医薬品・バイオ後続品の普及に関する目標値として、医療費適正化基本方針を参考に保健医療計画と併せて設定（新規）
病院薬剤師と薬局薬剤師及び薬剤師と多職種の連携強化					重複投与や多剤投与等問題のある服薬状況の改善を目指す目標として、保健医療計画と併せて設定（新規）
医薬品の適正使用の推進					抗菌薬を含む医薬品の適正使用推進を目指すことについて、保健医療計画に併せて目標を設定（新規）
がん医療体制の整備・充実					患者本位の適切な医療の実現を目指すことについて、第3期京都府がん対策推進計画に併せて目標を設定（新規）
地域の在宅医療・介護連携を支援する人材を配置する市町村数	R4	22市町村	R11	26市町村	在宅医療・介護連携推進に関する目標として、保健医療計画に併せて設定（新規）

※ 全体の成分数の60%以上とし、令和5年4月時点では16品目が承認（薬価収載）されていることから10成分としている。

(2) 推進すべき施策のポイント

地域包括ケアシステムの推進	
	<ul style="list-style-type: none"> ・医療、介護、介護予防、住まい及び日常生活の支援等が切れ目なく提供されるよう、市町村、保健所、京都地域包括ケア推進機構、地域包括ケア推進ネット、職能団体等と連携し、オール京都体制で地域包括ケアシステムを推進 ※ 京都府医療審議会地域医療構想策定部会で検討
特に広範かつ継続的な医療の提供が必要な疾病に係る対策	
がん	<ul style="list-style-type: none"> ・患者本位の適切な医療を実現し、がん患者及びその家族の苦痛や精神的不安の軽減並びに療養生活の質の維持向上 ※ 京都府がん対策推進協議会で検討
脳卒中・心筋梗塞等の 心血管疾患	<ul style="list-style-type: none"> ・ビッグデータやICTを活用したエビデンスに基づく循環器病対策の推進 ・病気のステージに応じた切れ目のない循環器医療ネットワークの構築 ・急性期から回復期、維持期・生活期に係るリハビリテーション体制の構築 ・循環器病に係る相談支援体制の整備及び後遺症対策の充実
糖尿病（再掲）	<ul style="list-style-type: none"> ・京都府糖尿病重症化予防戦略会議及び地域戦略会議を核とした地域の実情に応じた連携体制の構築
在宅医療	
	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療に必要な連携を担う拠点（京都府医師会、地区医師会、京都府歯科医師会、市町村等）と在宅医療を広く担う医療機関との連携による在宅療養支援体制の充実 ・患者が望む場所での看取りに関する体制の充実 ※ 高齢者サービス総合調整推進会議等で検討
医薬品	
後発医薬品・ バイオ後続品	<ul style="list-style-type: none"> ・バイオ後続品に関する関係者理解の促進 ・医療提供施設間での適切な情報共有、ポリファーマシーへの対応等の能力を備えた薬剤師の養成、薬局の機能の強化
医薬品等の安全確保	
安心して医薬品等を使用できる環境の充実	